(北アルプス地域)

令和6年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	あなたの夢で人と人をつなぐ
事業主体	一般社団法人 Ori 絲
(連絡先)	北安曇郡松川村73番地10
事業区分	(1)地域協働の推進
事業タイプ	ハード・ソフト
総事業費	9,909,509円 (うち支援金: 4,303,000円)

事業内容

農村である松川村らしく、"食を通して人と人を繋ぐ" を目標に、空き家を地域の人たちと一緒に改修して、 販売許可を取得したシェアキッチン※を作った。

- ① 空き家 DIY ワークショップ (全4回)
- ② お惣菜屋 (シニア世代と子育て世代をつなぐ)
- ③子どもカフェ朝ごはん
- ④ シェアキッチン (キッチンの貸出) ※菓子製造・飲食営業の許可を取得したレンタル

事業効果

- ① 総勢 37 名が参加。DIY の方法を学ぶことで、DIY の 楽しさや古い物を長く使えることを知ってもらえ た。また空き家が資源である事を理解いただいた。
- ② 20代から上は70代まで多くの方にご協力いただき、 松川村の農家の皆さんから寄付いただいた野菜を使ってお惣菜を作り、子育て世代を中心に販売した。5 品 100 食が 1 時間足らずで完売。世代を超えたつながりが生まれた。
- ③ 共働きで朝ごはんを食べられない子どもたちを中心に、シニア世代が作る温かい朝ごはんを提供した。 子育て世代をシニア世代が支えるという地域内で助け合いを作ることができた。
- ④ このキッチンで 7 組の方が自分のやりたかった飲食 営業をやる運びとなった。

今後の取り組み



【お惣菜の様子】

【目標・ねらい】

- ① 空き家活用の理解促進
- ② 食を通した人と人とのつなが り作り
- ③ 世代を超えた助け合いを生む

※自己評価 【 **A** 】

【理由】

- ・この事業で 100 名以上の関わり を生むことができた。
- ・他の団体(農家や子どもカフェリズム)にも協力いただき、多くの方を巻き込むことができた。
- ・WS 参加者が空き家を購入、DIY し始めた事例が 2 例。

下記取り組みを行い、この拠点から生まれる食を通した人と人の繋がりで、地域力溢れる村にしていく。

- ・空き家改修事例を増やすために視察の受け入れ
- ・農家と子育て世代を繋ぎ続けるために、お惣菜屋を毎月第2水曜日開催予定(250食)
- ・子どもカフェ朝ごはんは子どもの長期休暇(夏休み、冬休みなど)に開催。
- ・菓子製造と飲食営業のキッチンの利用者を増やして、ランチやディナー営業日を増やし、食を通した人と人が繋がる機会の増加を目指していく。また、キッチン利用による収益により、お惣菜屋や子どもカフェなどの運営費を賄い、継続的な運営をしていく。